

タイトル	ゲームと暴力と子育て
ポーランド語のタイトル	Gry i przemoc a wychowanie
テーマ *	b
名前	マルチン・マイエフスキ
ポーランド語の名前	Marcin Majewski
学校名 * 2	アダム・ミツキェヴィチ大学
学年	二年生
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

皆さん、ゲームをしていますか。ゲームは色々なジャンルがあつて、誰でも楽しめるいい時間のつぶし方だと思います。でも、暴力的なものもあります。新聞やテレビはそれを子供の暴力性と関連付けて、批難します。でもゲームは子供にとってそんなに悪いものでしょうか。

もちろん、暴力的なものを見続けていると、影響を受けることもあるでしょう。でも、子供が暴力的になるのはゲームのせいだけではなく、親に無視されるために、構って欲しい気持ちになるからだと思います。

私の父はプログラマーです。そのおかげで私は幼いころから色々なゲームに親しむことができました。実は、私は暴力的なゲームが好きでした。例えば GTA という、ギャングゲームがあります。そのゲームには色々なミッションがあつて、人を殺したりする暴力的な描写があります。でも父はこんなゲームでも禁ずることなく、一緒にプレーしてくれました。暴力シーンが出てきた時は、「これはただのゲーム。実際にしちゃいけない」と教えてくれました。ミッションを果たせず悔しかったときは、どうやってその悔しい気持ちを健全な方法で抑えるかを父は教えてくれました。一緒にボクシングしたり、外で走ったりしてくれました。そんな父のおかげで、私は暴力的な子供にならなかったのだと思います。そして、父の愛情をもっと感じることができました。

残念ながら、私の親友はそうではありませんでした。彼のお父さんはゲームをしている彼を一人で放置していました。「ゲームは子供に与え、黙らせる便利な道具」と考えているようでした。そして彼はよくゲームの真似をして、友達を殴ったりしました。それは、彼が親に構ってもらったり、感情の抑え方を教えてもらったりしなかったせいだと思います。私はそれを見て、何もしてあげられなくて、すごく悔しかったです。

私はゲームは本や映画の様な芸術の一つだと思います。そして芸術の様に、子供に様々な影響を与えます。それが子供にとって良いか悪いかは、親の判断が必要です。子供がしているゲームに興味を持つだけでも、子供の構ってもらいたい気持ちは解消できると思います。一緒に体験し、絆を深めて、感情の制御のしかたも教えられると思います。一石三鳥です。

お子さんのいる方、これから親になる皆さん。ゲームは沢山ありますので、子供と一緒に楽しめるゲームは絶対にあると思います。ですから、もし子供が自分のところへ来て、「このゲームをやりたい」と言ったら、暴力的なゲームでも、一緒にやってみてください。

以上です。ありがとうございました。

Streszczenie (60-70 słów)

W dzisiejszych czasach gry komputerowe są coraz powszechniejsze. Według telewizji i social mediów gry komputerowe, szczególnie te brutalne, mają negatywny wpływ na dzieci. Ja natomiast sądzę, że gry umożliwiają nam nowe sposoby wychowywania naszych pociech. Nie powinny one być traktowane jako narzędzie do uciszania dzieci. Gry, poprawnie przedstawione naszemu dziecku, poszerzają jego horyzonty, pomagają w jego rozwoju emocjonalnym, a przy okazji mogą także dostarczyć rozrywki jego rodzicom.